



ほんじつ ほん ～本日のおすすめの本③～

しょうがっかん えほん 『小学館アートブック⑩マティスの絵本』

文・構成 結城昌子 作 小学館(1998年初版)

*この本は7番の書棚にあります。貸出可能

～もし、マティスホテルがあったなら・・・泊ってみたいな～

今年度購入した「小学館アートブック」より、「マティスの本」を紹介します。

アンリ・マティスは、1869年にフランスの小さな町に生まれました。18歳の時に、法律を学ぶためにパリに出ます。そこで働くうちに、マティスは絵に興味をもつようになります。そして、本格的に絵を学ぶようになります。自由な描き方を認めてくれる素晴らしい先生や仲間たちとの出会いが、マティスを画家としてどんどん成長させていきます。

でも、マティスも最初から世間に認められていたわけではありません。強烈な色と荒々しいタッチが、それまでの画家たちの描き方とはあまりにも違っていたので、「まるで、野獣が描いたような絵」と悪口を言われてしまいます。でも、マティスの絵は、ゴッホやピカソたちと同じように後の絵画に大きな影響を与えることにまります。

マティスの生活は、ちょっと変わっていました。

なんと、自分の家ではなくて、ほとんどホテルに暮らしたのです。ホテルからホテルへと移りながら、絵を描いたり、バイオリンを弾いたりして過ごしたといわれています。

そのため、マティスの絵には、ホテルの部屋の中の写真や、その中に溶け込む人物や物の絵が、多くあります。

おんせい
1年生から

よ
読めます！

4 質の高い教育を
みんなに



みなさんも、「想像力のスイッチ」をいれてみませんか？

読書は想像力のスイッチをいれて、表現力を高める効果があります。

本を読むこと、文章を書くこと、それに絵を描くことも、とても効果的です。

図書館でも楽しい企画を用意しますので、ぜひためしてみてくださいね。